

平成30年度 医学科授業計画

医師は自らの天職をよく承知していなければならぬ。ひとたびこの職務を選んだ以上、もはや医師は自分自身のものでなく、病める人のものである。もしそれを好まぬなら、他の職業を選ぶがよい。

【開学の祖 ポンペ ファン メールデルフォールトの言葉】

長崎大学医学部医学科

目 次

はじめに	1
アクセシビリティ	2
試験成績の発表	2
追試験に関する取扱い	3
共用試験の判定基準に関する申合せ	4
医学部カリキュラムの概要	5
学年・学期別の試験科目一覧	13
平成23年度以前入学者の科目の読替え表	15
平成24～27年度入学者の科目の読替え表	16
長崎大学ナンバリング・システムについて	18
医学部医学科のディプロマポリシーにおける領域ごとの達成レベル	20
学年・学期別授業計画	
1年次授業計画	21
2年次授業計画	59
3年次授業計画	97
4年次授業計画	153
5年次授業計画	218
6年次授業計画	223

科目別目次

1年次科目

授業時間割	21
医と社会Ⅰ	22
人体構造系Ⅰ	25
生体分子系	29
発生・組織系	33
内臓機能・体液系Ⅰ	37
プレリサーチセミナー	41
地域医療ゼミ	43
熱帯医学ゼミ	46
国際医療ゼミ	47
医学ゼミ	48
医学英語	49
学部モジュール科目	50

(医科生物学入門、Communication Skill in English、
医学史・原爆医学と長崎、医学統計学)

2年次科目

授業時間割	59
医と社会Ⅱ	61
神経・感覚器系	64
人体構造系Ⅱ	68
動物性機能系	72
内臓機能・体液系Ⅱ	76
分子遺伝系	78
環境因子系	81
感染系	83
免疫系	87
腫瘍系	89
プレリサーチセミナー	92
国際医療英語	93
医学ゼミ	94
医学英語	96

3年次科目

授業時間割	97
医と社会Ⅲ	98
病理総論系	101
薬理系	103
放射線医学	106
基礎医学TBL	108
循環器系	110
血液・リンパ系	114
呼吸器系	117
腎泌尿器系	121
感染症系	124
運動系	128
生殖系	131
臨床検査医学	134

内分泌・代謝・栄養系	137
消化器系	141
プレリサーチセミナー	146
リサーチセミナー	147
国際医療英語	149
医学ゼミ	150
医学英語	152

4年次科目

授業時間割	153
医と社会Ⅳ	154
人体構造系Ⅲ	157
薬理系Ⅲ	160
病理各論系Ⅲ	162
精神系	165
脳・神経系	167
皮膚系	171
運動系	174
視覚系	176
耳鼻咽喉口腔系	179
衛生学・分子疫学	181
公衆衛生学	184
外科治療学	186
法医学系	190
診断学	192
臨床検査医学	198
臨床疫学・医療情報学	201
臨床薬理学	204
東洋医学	206
総合病理学	209
臨床推論PBL	211
臨床実習	212
医学ゼミ	213
アドバンストリサーチセミナー	215
医学英語	217

5年次科目

授業時間割	218
臨床実習	219
高次臨床実習	220
アドバンストリサーチセミナー	221

6年次科目

授業時間割	223
高次臨床実習	224
アドバンストリサーチセミナー	225
臨床総括講義(卒前集中講義)	227

はじめに

長崎大学医学部医学科では「大学教育における基本的教養と専門の基盤となる幅広い知識を修得させるとともに、医学に関する高度の専門的知識を修得させ、自立性と社会性を身につけた医師及び科学的創造性をもった医学者を育成すること」を教育目標としております（医学部規程第2条）。

この目標達成のために学科教育では、

- 1) 医学医療の知識と総合的理解（医学を学ぶ）
- 2) 科学性及び医学的創造性の養成（科学を学ぶ）
- 3) 医師としての社会的責任感及び自立性の確立（人間を学ぶ）

を図ることを重視し、この3点をバランスよく併せ持ったカリキュラムが実施されています。一般教育（全学教育）と専門教育を楔形に合わせた6年一貫教育形態が取り入れられており、平成10年度と平成14年度の改訂を経て、その概要は次頁以下に示した通りです。

医学医療の知識の修得と総合的理解の点では基礎医学から臨床医学へと展開していく医学教育の順次性を重視した年次別の授業科目が開設されています。即ち、1年次では2年次以降に学ぶ教科の基盤作りが行えるように、「医科生物学入門」をはじめとする医学の基礎科目が開講されます。2年次では人体の構造、生理機能をさらに詳細にかつ統合的に理解し医学の基礎作りが行えるように、3・4年次においては疾患の発生機序、病態の理解を基に診断、治療、予防の原理の理解へと進み、5・6年次でそれまでに得られた知識を臨床実習や臨床総括講義を通してより実戦的なものとして整理体系づけると共に、診療に必要な思考力、判断力及び技術を養成できるように授業科目が配置されています。

特に4年次からは「Problem-based learning(PBL)」が導入され自己問題解決能力の向上を図ると共に、4・5年次の各科ローテーションを軸とする「臨床実習」と5・6年次の選択必修となる「高次臨床実習」を通して、より現場に即した実習内容が提供されることになっています。また、長崎大学医学部のユニークな授業科目として1年次には「医学史・原爆医学と長崎」が、3年次には「熱帯医学」と「感染症学」を融合させた「感染症系」が設けられています。さらに、4・5年次の「臨床実習」では「離島実習」があり、実際に五島列島などでの離島医療の現場に接していただきます。それらによって、長崎の歴史と地域性に根ざした上で、日本の医療が担うべき国際的な立場の認識、さらにこれからの社会において必要と思われる医師、医学者の国際的感覚をも養っていただくことが期待されています。

科学性及び医学的創造性の養成については、各教科の授業でも当然行われますが、学生の科学的好奇心の喚起、科学的創造性の育成を図って、3年次に10週間の「リサーチセミナー」の期間が設けられています。この期間は医学部基礎系研究室と熱帯医学研究所の各部門で、各自が選択した研究テーマについて終日研究活動に従事することになります。また、平成14年度からの新カリキュラムでは必修選択科目の少人数教育「医学ゼミ」が開始され、特定の分野を深く学ぶことが可能になります。また、6年次の最終講義として卒前集中講義を設けました。

医学教育においては早い時期での医療への接触が大切だとされています。それを踏まえて、「医と社会」が設けられ、そこでは病院体験や看護体験実習での医療現場への参加や、今日的医療テーマについて専門教員を交えての討論の機会が用意されています。

さらに2・3年次の「医と社会」では、医学・医療の社会に入り自立する為の精神的基盤作りを図れるように医の倫理、医療心理学、医学・医療社会問題等について学習します。一方、4～6年次での臨床実習では、実戦的な知識・技術を身に付けるばかりでなく、多くの患者さんに接することによって職業的使命感を養っていただくことが期待されています。

最初に述べた本医学部医学科の教育目標を十分に理解し、「医学を学び」、「科学を学び」、「人間を学び」自立性と社会性を身に付けた医師、科学的創造性を持った医学者に育ていただくことを切望します。

アクセシビリティ

長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。

アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先

(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948

(E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp

試験成績の発表

専門の成績 (可否) については掲示にてお知らせします。

成績結果に疑義がある場合は、成績発表後、1週間以内に学務課へ問い合わせてください。

また、評価については、年度末にお知らせします。

追試験に関する取扱い

平成25年12月18日
医学科会議決定

長崎大学医学部規程第14条の規定に基づく追試験の取扱いは、下記のとおりとする。

1. 病気その他やむを得ない理由により専門教育科目の定期試験を受けることができなかつた者に対し、教務委員会において審議し、追試験を行うことがある。病気その他やむを得ない理由とは、次の各号のいずれかに該当する場合をいう。

- (1) 入院加療を要する病気又は重度の負傷の場合（医師の診断書等の提出を要する）
- (2) 忌引の場合（会葬御礼のカード等の提出を要する）
- (3) 交通機関の事故・不通の場合（証明できる書類の提出を要する）
- (4) その他、教務委員会が正当と認める理由である場合

対象となるものは、定期試験実施後、すみやかに上記証明書を添えて追試験願いを提出しなければならない。

2. 本人の不注意（寝過し、時間割誤認など）によるものについては、追試験は認められない。また教務委員会での審査にて、定期試験が受験可能であったと判断されるものについては、追試験を許可しない。

3. 追試験を受けようとする者は、担当教員の指定する日時に追試験を受験しなければならない。

4. 当該授業科目の追試験は1回限りとする。

5. 追試験の評価は科目責任者の判断にて減点される場合がある。

6. 尚、専門科目の定期試験以外の試験はこの申し合わせ事項を適応せず、追試験実施の有無は各科目責任者の判断によるものとする。

共用試験の判定基準に関する申合せ

〔平成 29 年 11 月 22 日〕
医 学 科 会 議 決 定

共用試験の判定基準について、下記のとおり申し合わせる。

記

- 第 1 共用試験の合格の判定は、CBT 及び OSCE の両方に合格した者に対し行う。
- 第 2 共用試験を不合格と判定された者は、翌年度 4 年次科目の臨床推論 PBL、診断学を聴講の上、CBT 及び OSCE の両方を受験しなければならない。
- 2 前項の科目について、各授業を行った時数の 3 分の 1 を超えて欠席した者に対しては、CBT 及び OSCE の受験資格を認めない。
- 3 第 1 項の科目を除く 4 年次科目の聴講については、学生からの申出により、各科目責任者が判断する。
- 第 3 CBT 本試験の評価については、能力値（以下 IRT 値）359 以上をもって合格とし、IRT 値 359 未満の場合には再試験を行う。なお、追・再試験の評価についても、IRT 値 359 以上をもって合格とする。
- 第 4 OSCE 本試験の評価については、すべてのステーションで 60 点以上を取得することをもって合格とし、60 点未満のステーションがあった場合には、当該ステーションについて再試験を行う。なお、追・再試験の評価についても、60 点以上を合格とする。
- 第 5 共用試験の本試験及び追・再試験において、病気、忌引、その他特段の事情なく欠席又は遅刻した者は不合格とする。
- 2 前項の規定により、本試験を不合格となった者は追・再試験の対象としない。

附 則

この申合せは、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この申合せは、平成 23 年 11 月 16 日から施行する。

附 則

この申合せは、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この申合せは、平成 27 年 8 月 5 日から施行する。

附 則

この申合せは、平成 28 年 1 月 6 日から施行する。

附 則

この申合せは、平成 29 年 11 月 22 日から施行する。

医学部カリキュラムの概要 (1年次生)

(平成30年度以降入学者用)

1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
<p>医と社会I</p> <p>正常構造と機能</p> <p>生体分子系 人体構造系I 発生・組織系 内臓機能・体液系I</p>	<p>医と社会II</p> <p>正常構造と機能</p> <p>分子遺伝系 人体構造系II 神経・感覚器系 動物性機能系 内臓機能・体液系II</p> <p>疾患総論</p> <p>感染系 免疫系 腫瘍系 放射線基礎医学</p>	<p>医と社会III</p> <p>疾患総論</p> <p>病理総論系 基礎医学TBL 薬理系</p> <p>疾患各論</p> <p>血液・リンパ系 循環器系 呼吸器系 感染症系 腎泌尿器系</p> <p>内分泌・代謝・栄養系 消化器系 運動系 生殖系</p>	<p>医と社会IV</p> <p>正常構造と機能</p> <p>人体構造系III</p> <p>疾患各論</p> <p>精神系 免疫・アレルギー系 脳・神経系 皮膚系 視覚系 耳鼻咽喉口腔系 小児系</p> <p>医学・医療と社会</p> <p>衛生学・分子疫学 公衆衛生学 地域医療学</p> <p>診療の基本</p> <p>診断学 外科治療学 臨床疫学・医療情報学 臨床薬理学 東洋医学 総合病理学 臨床推論PBL</p> <p>臨床実習</p> <p>臨床実習 臨床実習II</p>	<p>放射線医学</p> <p>診療の基本</p> <p>臨床検査医学</p> <p>基礎研究実習</p> <p>リサーチセミナー (発表会は4年次)</p>	<p>放射線医学</p> <p>診療の基本</p> <p>臨床検査医学</p> <p>基礎研究実習</p> <p>リサーチセミナー (発表会は4年次)</p>	<p>放射線医学</p> <p>診療の基本</p> <p>臨床検査医学</p> <p>基礎研究実習</p> <p>リサーチセミナー (発表会は4年次)</p>	<p>放射線医学</p> <p>診療の基本</p> <p>臨床検査医学</p> <p>基礎研究実習</p> <p>リサーチセミナー (発表会は4年次)</p>	<p>放射線医学</p> <p>診療の基本</p> <p>臨床検査医学</p> <p>基礎研究実習</p> <p>リサーチセミナー (発表会は4年次)</p>	<p>放射線医学</p> <p>診療の基本</p> <p>臨床検査医学</p> <p>基礎研究実習</p> <p>リサーチセミナー (発表会は4年次)</p>	<p>放射線医学</p> <p>診療の基本</p> <p>臨床検査医学</p> <p>基礎研究実習</p> <p>リサーチセミナー (発表会は4年次)</p>	<p>放射線医学</p> <p>診療の基本</p> <p>臨床検査医学</p> <p>基礎研究実習</p> <p>リサーチセミナー (発表会は4年次)</p>
<p>学部モジュール</p> <p>医科生物学入門 医学統計学 医学史・原爆医学と長崎 Communication Skill in English</p>											
<p>教養教育</p>											
<p>医学総合セミナー 医学英語</p>											

医学部カリキュラムの概要 (2～3年次生)

(平成28年度以降入学者用)

1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次							
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
<p>医と社会I</p> <p>正常構造と機能</p> <p>生体分子系 人体構造系I 発生・組織系 内臓機能・体液系I</p>		<p>医と社会II</p> <p>正常構造と機能</p> <p>分子遺伝系 人体構造系II 神経・感覚器系 動物性機能系 内臓機能・体液系II</p> <p>疾患総論</p> <p>感染系 免疫系 腫瘍系 環境因子系</p>		<p>医と社会III</p> <p>疾患総論</p> <p>病理総論系 基礎医学TBL 薬理系</p> <p>疾患各論</p> <p>血液・リンパ系 循環器系 呼吸器系 感染症系 腎泌尿器系</p> <p>内分泌・代謝・栄養系 消化器系 運動系 生殖系</p>		<p>医と社会IV</p> <p>正常構造と機能</p> <p>人体構造系III</p> <p>疾患各論</p> <p>精神系 免疫・アレルギー系 脳・神経系 皮膚系 視覚系 耳鼻咽喉口腔系 小児系</p> <p>医学・医療と社会</p> <p>衛生学・分子疫学 公衆衛生学 地域医療学</p>		<p>診療の基本</p> <p>診断学 外科治療学 臨床疫学・医療情報学 臨床薬理学 東洋医学 総合病理学 臨床推論PBL</p> <p>臨床実習</p> <p>臨床実習 高次臨床実習I</p>		<p>診療の基本</p> <p>リサーチセミナー (発表会は4年次)</p>		<p>基礎研究実習</p> <p>放射線医学 臨床検査医学</p>		<p>臨床実習</p> <p>臨床実習 高次臨床実習II</p>		<p>卒業試験</p>	
<p>学部モジュール</p> <p>医科生物学入門 医学統計学 医学史・原爆医学と長崎 Communication Skill in English</p>																	
<p>教養教育</p>																	
<p>医学総合セミナー 医学英語</p>																	

医学部カリキュラムの概要 (4年次生)

(平成27年度以降入学者用)

1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医と社会I		医と社会II		医と社会III		医と社会IV					
人間生物学	入門科目	人体構造系II 発生・組織系II 動物性機能系 内臓機能・体液系II	正常構造と機能 神経・感覚器系II	環境因子系 薬理系I 病理各論系I	疾患総論 薬理系II 病理各論系II	人体構造系III 正常構造と機能 疾患総論	臨床実習 臨床実習II 高次臨床実習I	治療の基本 臨床総括講義			
生体分子系	正常構造と機能 人体構造系I 分子遺伝系 神経・感覚器系I 発生・組織系I 内臓機能・体液系I	疾患総論 感染系 免疫系 病理総論系 腫瘍系 基礎医学TBL	循環器系 呼吸器系 消化器系 感染症系	血液・リンパ系 内分泌・代謝・栄養系 免疫・アレルギー—疾患系 腎泌尿器系 生殖系 小児系	薬理系III 病理各論系III 精神系 脳・神経系 皮膚系 運動系 視覚系 耳鼻咽喉口腔系	臨床実習II 高次臨床実習II					
細胞生物学	学部モジュール										
医学史・原爆医学と長崎	医学統計学					治療の基本 放射線医学 臨床医学TBL I 臨床医学TBL II	医学・医療と社会 衛生学・分子疫学 公衆衛生学 法医学系				
		教育教育	基礎研究実習 リサーチセミナー (発表会は4年次)			診療の基本 診断学 臨床検査医学 臨床疫学・医療情報学 臨床薬理学 東洋医学 総合病理学 臨床推論PBL 臨床実習 臨床実習I					卒業試験
医学総合セミナー 医学英語											

医学部カリキュラムの概要 (5年次生)

(平成26年度以降入学者用)

1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
医と社会I		医と社会II		医と社会III		医と社会IV					
人間生物学	入門科目	人体構造系II 発生・組織系II 動物性機能系 内臓機能・体液系II	正常構造と機能 神経・感覚器系II	環境因子系 薬理系I 病理各論系I	疾患総論 薬理系II 病理各論系II	人体構造系III 正常構造と機能 疾患総論	臨床実習 臨床実習II 高次臨床実習I	治療の基本 臨床総括講義 臨床実習 臨床実習II			
生体分子系	正常構造と機能 人体構造系I 分子遺伝系 神経・感覚器系I 発生・組織系I 内臓機能・体液系I	疾患総論 感染系 免疫系 病理総論系 腫瘍系 基礎医学TBL	循環器系 呼吸器系 消化器系 感染症系	血液・リンパ系 内分泌・代謝・栄養系 免疫・アレルギー―疾患系 腎泌尿器系 生殖系 小児系	薬理系III 病理各論系III 精神系 脳・神経系 皮膚系 運動系 視覚系 耳鼻咽喉口腔系	臨床実習 臨床実習II 高次臨床実習I					
細胞生物学 医学は長崎から 原爆医学概論	学部モジュール 医学統計学	臨床医学TBL I 放射線医学 臨床医学TBL II	治療の基本	衛生学・分子疫学 公衆衛生学	医学・医療と社会 法医学系						卒業試験
		基礎研究実習 リサーチセミナー (発表会は4年次)	診療の基本 診断学 臨床検査医学 臨床疫学・医療情報学 臨床薬理学 東洋医学 総合病理学 臨床推論PBL 臨床実習 臨床実習I	外科治療学 臨床医学TBL III	診療の基本 診断学 臨床検査医学 臨床疫学・医療情報学 臨床薬理学 東洋医学 総合病理学 臨床推論PBL 臨床実習 臨床実習I						
		教養教育									
		医学総合セミナー 医学英語									

医学部カリキュラムの概要 (6年次生)

(平成24年度以降入学者用)

1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
<p>医と社会I</p> <p>人間生物学</p> <p style="text-align: center;">入門科目</p> <p>正常構造と機能</p> <p>生体分子系</p> <p>人体構造系I</p> <p>分子遺伝系</p> <p>神経・感覚器系I</p> <p>発生・組織系I</p> <p>内臓機能・体液系I</p>	<p>医と社会II</p> <p style="text-align: center;">正常構造と機能</p> <p>人体構造系II</p> <p>発生・組織系II</p> <p>動物性機能系</p> <p>内臓機能・体液系II</p> <p style="text-align: center;">疾患総論</p> <p>感染系</p> <p>免疫系</p> <p>病理総論系</p> <p>腫瘍系</p> <p>基礎医学TBL</p>	<p>医と社会III</p> <p style="text-align: center;">疾患総論</p> <p>環境因子系</p> <p>薬理系I</p> <p>病理各論系I</p> <p style="text-align: center;">疾患各論</p> <p>循環器系</p> <p>呼吸器系</p> <p>消化器系</p> <p>感染症系</p> <p>血液・リンパ系</p> <p>内分泌・代謝・栄養系</p> <p>免疫・アレルギー―疾患系</p> <p>腎泌尿器系</p> <p>生殖系</p> <p>小児系</p> <p style="text-align: center;">診療の基本</p> <p>臨床医学TBL I</p>	<p>医と社会IV</p> <p style="text-align: center;">正常構造と機能</p> <p>人体構造系III</p> <p>薬理系III</p> <p>病理各論系III</p> <p style="text-align: center;">疾患各論</p> <p>精神系</p> <p>脳・神経系</p> <p>皮膚系</p> <p>運動系</p> <p>視覚系</p> <p>耳鼻咽喉口腔系</p> <p style="text-align: center;">医学・医療と社会</p> <p>衛生学・分子疫学</p> <p>公衆衛生学</p> <p style="text-align: center;">診療の基本</p> <p>診断学</p> <p>臨床検査医学</p> <p>臨床疫学・医療情報学</p> <p>臨床薬理学</p> <p>東洋医学</p> <p>総合病理学</p> <p>臨床推論PBL</p> <p style="text-align: center;">臨床実習</p> <p>臨床実習 I</p>	<p>臨床実習 II</p> <p>臨床実習 II</p> <p>高次臨床実習I</p>	<p>高次臨床実習II</p>	<p>診療の基本</p> <p>臨床総括講義</p> <p style="text-align: center;">臨床実習</p>	<p>卒業試験</p>				
<p>学部モジュール</p> <p>人間生物学</p> <p>細胞生物学</p> <p>医学は長崎から</p> <p>原爆医学概論</p> <p>医学統計学</p>											
<p>教養教育</p>											
<p>医学総合セミナー</p> <p>医学英語</p>											

医学部カリキュラムの概要(学士2年前期編入学)

(平成29年度以降2年次編入学学生適用)

1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
		<p>医と社会II</p> <p>正常構造と機能</p> <p>生体分子系 人体構造系I 発生・組織系</p> <p>人体構造系II 神経・感覚器系 動物性機能系 内臓機能・体液系II</p> <p>疾患総論</p> <p>感染系 免疫系 腫瘍系 環境因子系</p>	<p>医と社会III</p> <p>疾患総論</p> <p>病理総論系 基礎医学TBL 薬理系</p> <p>疾患各論</p> <p>血液・リンパ系 循環器系 呼吸器系 感染症系 腎泌尿器系</p> <p>診療の基本</p> <p>放射線医学 臨床検査医学</p> <p>基礎研究実習</p> <p>リサーチセミナー (発表会は4年次)</p>	<p>医と社会IV</p> <p>正常構造と機能</p> <p>人体構造系III 精神系 免疫・アレルギー系 脳・神経系 皮膚系 視覚系 耳鼻咽喉口腔系 小児系</p> <p>疾患各論</p> <p>医学・医療と社会</p> <p>衛生学・分子疫学 公衆衛生学 地域医療学</p> <p>診療の基本</p> <p>診断学 外科治療学 臨床疫学・医療情報学 臨床薬理学 東洋医学 総合病理学 臨床推論PBL</p> <p>臨床実習</p> <p>臨床実習 臨床実習II</p>							
<p>医学総合セミナー 医学英語</p>											
<p>卒業試験</p>											

医学部カリキュラムの概要（学士2年前期編入学）

（平成25年度以降2年次編入学学生適用）

1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
	<p>医と社会I</p> <p>人間生物学</p> <p>入門科目</p> <p>正常構造と機能</p> <p>分子遺伝系</p> <p>神経・感覚器系I</p> <p>内臓機能・体液系I</p> <p>神経・感覚器系II</p> <p>動物性機能系</p> <p>内臓機能・体液系II</p> <p>疾患総論</p> <p>感染系</p> <p>免疫系</p> <p>病理総論系</p> <p>腫瘍系</p> <p>基礎医学TBL</p>	<p>医と社会II</p> <p>環境因子系</p> <p>疾患総論</p> <p>薬理系</p> <p>病理各論系</p> <p>疾患各論</p> <p>血液・リンパ系</p> <p>内分泌・代謝・栄養系</p> <p>免疫・アレルギー疾患系</p> <p>腎泌尿器系</p> <p>生殖系</p> <p>小児系</p> <p>放射線医学</p> <p>臨床医学TBL I</p> <p>基礎研究実習</p> <p>リサーチセミナー</p>	<p>医と社会III</p> <p>正常構造と機能</p> <p>疾患総論</p> <p>薬理系</p> <p>病理各論系</p> <p>疾患各論</p> <p>精神系</p> <p>脳・神経系</p> <p>皮膚系</p> <p>運動系</p> <p>視覚系</p> <p>耳鼻咽喉口腔系</p> <p>医学・医療と社会</p> <p>法医学系</p> <p>衛生学・分子疫学</p> <p>公衆衛生学</p> <p>外科治療学</p> <p>臨床医学TBL III</p> <p>臨床疫学・医療情報学</p> <p>臨床薬理学</p> <p>東洋医学</p> <p>総合病理学</p> <p>臨床推論PBL</p> <p>臨床実習</p> <p>臨床実習 I</p>	<p>医と社会IV</p> <p>人体構造系III</p> <p>薬理系</p> <p>病理各論系</p> <p>精神系</p> <p>脳・神経系</p> <p>皮膚系</p> <p>運動系</p> <p>視覚系</p> <p>耳鼻咽喉口腔系</p> <p>医学・医療と社会</p> <p>法医学系</p> <p>衛生学・分子疫学</p> <p>公衆衛生学</p> <p>外科治療学</p> <p>臨床医学TBL III</p> <p>臨床疫学・医療情報学</p> <p>臨床薬理学</p> <p>東洋医学</p> <p>総合病理学</p> <p>臨床推論PBL</p> <p>臨床実習</p> <p>臨床実習 I</p>	<p>臨床実習 II</p> <p>臨床実習 II</p> <p>高次臨床実習I</p>	<p>診療の基本</p> <p>臨床総括講義</p> <p>臨床実習 II</p> <p>高次臨床実習II</p>	卒業試験				
医学ゼミ											
医学英語											

医学部カリキュラムの概要(学士2年後期編入学)

(平成24年度以降2年次後期編入学学生適用)

1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
		医と社会		医と社会		医と社会		医と社会			
		正常構造と機能 人体構造系 生体分子系 分子遺伝系 神経・感覚器系 発生・組織系 動物性機能系 内臓機能・体液系		正常構造と機能 人体構造系 疾患総論 感染系 免疫系 環境因子系 病理総論系 病理各論系 分子病態系 腫瘍系 薬理系		医と社会 疾患各論 脳・神経系 運動系 消化器系 腎泌尿器系 生殖系 視覚系 耳鼻咽喉口腔系 免疫・アレルギー ギー疾患系		疾患各論 皮膚系 精神系 小児系 感染症系(含熱帯医学)		診療の基本 臨床疫学・医療情報学 臨床薬理学 臨床総括講義 (PBLチュートリアル) 臨床実習 臨床実習	
		血液・リンパ系 循環器系 呼吸器系 内分泌・代謝・栄養系 リサーチセミナー		疾患各論 血液・リンパ系 循環器系 呼吸器系 内分泌・代謝・栄養系 リサーチセミナー		医学・医療と社会 法医学系 社会医学系 診療の基本 診断学 放射線医学 臨床検査医学 外科治療学		卒業試験			
		医学ゼミ		医学英語		医学ゼミ					

学年・学期別の試験科目一覧（一般学生用）

学 年	前 期 末 試 験 期 間	後 期 末 試 験 期 間
1 年次		生体分子系 人体構造系 I 発生・組織系 内臓機能・体液系 I
2 年次	神経・感覚器系 人体構造系 II 動物性機能系	分子遺伝系 感染系 免疫系 腫瘍系 環境因子系
3 年次	病理総論系 放射線医学 循環器系 血液・リンパ系 腎泌尿器系 感染症系（含熱帯医学） 呼吸器系 薬理系	生殖系 運動系 臨床検査医学 内分泌・代謝・栄養系 消化器系
4 年次	人体構造系 III 薬理系 III 病理各論系 III 精神系 脳・神経系 皮膚系 運動系 視覚系 耳鼻咽喉口腔系 衛生学・分子疫学 公衆衛生学 外科治療学	法医学系 診断学 臨床検査医学 東洋医学
5 年次		
6 年次	卒業試験	

学年・学期別の試験科目一覧（学士編入学者用）

学年	前期末試験期間	後期末試験期間
2年次	神経・感覚器系 人体構造系Ⅱ 動物性機能系	生体分子系 分子遺伝系 内臓機能・体液系Ⅰ 発生・組織系 内臓機能・体液系Ⅱ 感染系 免疫系 腫瘍系 環境因子系
3年次	病理総論系 放射線医学 循環器系 血液・リンパ系 腎泌尿器系 感染症系（含熱帯医学） 呼吸器系 薬理系	生殖系 運動系 臨床検査医学 内分泌・代謝・栄養系 消化器系
4年次	人体構造系Ⅲ 薬理系Ⅲ 病理各論系Ⅲ 精神系 脳・神経系 皮膚系 運動系 視覚系 耳鼻咽喉口腔系 衛生学・分子疫学 公衆衛生学 外科治療学	法医学系 診断学 臨床検査医学 東洋医学
5年次		
6年次	卒業試験	

平成23年度以前入学者の科目の読替え表

平成23(2011)年度以前入学者カリキュラム科目				
開講年次	科目区分	科目	受講学期	旧カリ 単位数
1年	医と社会	医と社会	1前	7.5
2年	医と社会	医と社会	2後	
3年	医と社会	医と社会	3前・後	
4年	医と社会	医と社会	4前	
1年	入門科目	人間生物学	1前・後	4.0
1年	入門科目	細胞生物学	1前	1.0
1年	入門科目	原爆医学概論	1前	0.5
1年	入門科目	医学は長崎から	1前	0.5
1年	入門科目	医学統計学	1後	1.0
1年	入門科目	生物化学	1後	1.0
1年	入門科目	生物・化学実習	1後	2.0
1年	正常構造と機能	人体構造系	1後	6.5
2年	正常構造と機能	人体構造系	2前	
2年	正常構造と機能	生体分子系	2前	2.5
2年	正常構造と機能	分子遺伝系	2前	2.0
2年	正常構造と機能	神経・感覚器系	2後	2.0
2年	正常構造と機能	発生・組織系	2後	3.0
2年	正常構造と機能	動物性機能系	2後	2.5
2年	正常構造と機能	内臓機能・体液系 (生理学実習)	2前・後	3.5
2年	正常構造と機能	(生理学実習)	2前	
3年	疾患総論	感染症系	3前	3.5
3年	疾患総論	免疫系	3前	2.0
3年	疾患総論	環境因子系	3前	1.0
3年	疾患総論	薬理系(薬理学実習含む)	3前	2.5
3年	疾患総論	病理総論系	3前	1.5
3年	疾患総論	病理各論系	3前・後	4.0
3年	疾患総論	分子病態系	3前	1.0
3年	疾患総論	腫瘍系	3前	1.0
3年	疾患各論	血液・リンパ系	3後	1.5
3年	疾患各論	循環器系	3後	2.5
3年	疾患各論	呼吸器系	3後	2.0
3年	疾患各論	内分泌・代謝・栄養系	3後	1.5
3年	基礎研究実習	リサーチセミナー	3後	9.0
4年	疾患各論	免疫・アレルギー-疾患系	4前	1.0
4年	疾患各論	脳・神経系	4前	2.5
4年	疾患各論	運動系	4前	1.5
4年	疾患各論	消化器系	4前	2.5
4年	疾患各論	腎泌尿器系	4前	1.5
4年	疾患各論	生殖系	4前	2.5
4年	疾患各論	視覚系	4前	1.0
4年	疾患各論	耳鼻咽喉口腔系	4前	1.5
4年	疾患各論	皮膚系	4後	1.5
4年	疾患各論	精神系	4後	1.5
4年	疾患各論	小児系	4後	1.5
4年	疾患各論	感染症系	4後	2.0
4年	医学・医療と社会	法医学系	4後	1.5
4年	医学・医療と社会	社会医学系	4前・後	5.0
4年	診療の基本	診断学	4後	3.0
4年	診療の基本	放射線医学	4後	1.0
4年	診療の基本	臨床検査医学	4後	1.0
4年	診療の基本	外科治療学	4後	2.0
5年	診療の基本	臨床疫学・医療情報学	5前・後	0.5
5年	診療の基本	臨床薬理学	5前・後	0.5
5年	診療の基本	臨床総括講義	5前・後	8.5

平成24(2012)～平成27(2015)年度入学者カリキュラム				
開講年次	科目区分	科目	受講学期	新カリ 単位数
1年	医と社会	医と社会I	1前	2.5
2年	医と社会	医と社会II	2後	2.0
3年	医と社会	医と社会III	3前・後	2.5
4年	医と社会	医と社会IV	4前	0.5
1年	入門科目	人間生物学	1前	2.0
1年	学部モジュール科目	細胞生物学	1前	2.0
1年	学部モジュール科目	原爆医学概論	1前	2.0
1年	学部モジュール科目	医学は長崎から	1前	2.0
1年	学部モジュール科目	医学統計学	1後	2.0
1年				読替え科目なし
1年				読替え科目なし
1年	正常構造と機能	人体構造系I	1後	2.0
2年	正常構造と機能	人体構造系II	2前	3.5
4年	正常構造と機能	人体構造系III	4前	1.0
1年	正常構造と機能	生体分子系	1前	3.0
1年	正常構造と機能	分子遺伝系	1後	2.0
1年	正常構造と機能	神経・感覚器系I	1後	1.5
2年	正常構造と機能	神経・感覚器系II	2後	0.5
1年	正常構造と機能	発生・組織系I	1後	0.5
2年	正常構造と機能	発生・組織系II	2前	2.5
2年	正常構造と機能	動物性機能系	2前	2.5
1年	正常構造と機能	内臓機能・体液系I	1後	1.0
2年	正常構造と機能	内臓機能・体液系II	2前	2.5
2年	正常構造と機能	(生理学実習)	2前	
2年	疾患総論	感染症系	2後	3.5
2年	疾患総論	免疫系	2後	2.0
3年	疾患総論	環境因子系	3前	1.0
3年	疾患総論	薬理系(薬理学実習含む) I	3前	2.5
3年	疾患総論	薬理系(薬理学実習含む) II	3後	
4年	疾患総論	薬理系(薬理学実習含む) III	4前	
2年	疾患総論	病理総論系	2後	1.5
3年	疾患総論	病理各論系 I	3前	4.0
3年	疾患総論	病理各論系 II	3後	
4年	疾患総論	病理各論系 III	4前	
2年	疾患総論	基礎医学TBL	2後	1.0
2年	疾患総論	腫瘍系	2後	1.0
3年	疾患各論	血液・リンパ系	3後	1.5
3年	疾患各論	循環器系	3前	2.5
3年	疾患各論	呼吸器系	3前	2.0
3年	疾患各論	内分泌・代謝・栄養系	3後	1.5
3年	基礎研究実習	リサーチセミナー	3後	11.5
3年	疾患各論	免疫・アレルギー-疾患系	3後	1.0
4年	疾患各論	脳・神経系	4前	2.5
4年	疾患各論	運動系	4前	1.5
3年	疾患各論	消化器系	3前	2.5
3年	疾患各論	腎泌尿器系	3後	1.5
3年	疾患各論	生殖系	3後	2.5
4年	疾患各論	視覚系	4前	1.5
4年	疾患各論	耳鼻咽喉口腔系	4前	1.5
4年	疾患各論	皮膚系	4前	1.5
4年	疾患各論	精神系	4前	1.5
3年	疾患各論	小児系	3後	1.5
3年	疾患各論	感染症系	3前	2.0
4年	医学・医療と社会	法医学系	4後	1.5
4年	医学・医療と社会	衛生学・分子疫学	4前	1.5
4年	医学・医療と社会	公衆衛生学	4前	1.5
4年	診療の基本	診断学	4後	3.0
3年	診療の基本	放射線医学	3後	1.0
4年	診療の基本	臨床検査医学	4後	1.0
4年	診療の基本	外科治療学	4前	2.0
4年	診療の基本	* 臨床疫学・医療情報学	4後	0.5
4年	診療の基本	* 臨床薬理学	4後	0.5
3年	診療の基本	* 臨床医学TBL I	3前	2.0
3年	診療の基本	* 臨床医学TBL II	3後	1.0
4年	診療の基本	* 臨床医学TBL III	4前	1.0
4年	診療の基本	* 東洋医学	4後	0.5
4年	診療の基本	* 総合病理学	4後	1.0
4年	診療の基本	* 臨床推論PBL	4後	3.0
4年	臨床実習	* 臨床実習	4後	

※H27年度までに下記の3科目を未履修でかつ3, 4年次に「*」の科目を履修する機会がなかった者のみ適用する科目				
5年	診療の基本	臨床疫学・医療情報学	5前・後	0.5
5年	診療の基本	臨床薬理学	5前・後	0.5
5年	診療の基本	臨床総括講義	5前・後	8.5
5年	臨床実習	臨床実習	5前・後	42.0
6年	診療の基本	臨床総括講義(卒前集中講義)	6前	
6年	臨床実習	高次臨床実習	6前	18.0
5年	臨床実習	高次臨床実習I	5後	7.5
5年	臨床実習	臨床実習	5前・後	55.0
6年	診療の基本	臨床総括講義	6前	3.0
6年	臨床実習	高次臨床実習II	6前	20.0

※ の開講年次が変更になった科目については、新カリの開講年次において履修し、進級要件は、旧カリの開講年次の要件に含める。

※ の開講年次が変更になった科目については、新カリの開講年次において履修するが、進級要件には含めない。

平成24～27年度入学者の科目の読替え表 (平成28年度以降入学者カリキュラム1～2年次開講科目)

平成24(2012)～平成27(2015)年度入学者 カリキュラム					平成28(2016)年度以降入学者 カリキュラム					
開講 年次	科目区分	科目	受講 学期	単位数	開講 年次	科目区分	科目	受講 学期	単位数	
1年	医と社会	医と社会I	1前	2.5	1年	医と社会	医と社会I	1前・後	2.0	
2年	医と社会	医と社会II	2後	2.0	2年	医と社会	医と社会II	2前・後	2.0	
1年	入門科目	人間生物学(※)	1前	2.0	1年	学部モジュール科目	医科生物学入門	1前	1.0	2単位に読替え
1年	学部モジュール科目	細胞生物学	1前	2.0	1年	学部モジュール科目	医科生物学入門	1前	1.0	2単位に読替え
1年	学部モジュール科目	原爆医学概論	1前	2.0	1年	学部モジュール科目	医学史・原爆医学と長崎	1前	2.0	各2単位に読替え
1年	学部モジュール科目	医学は長崎から	1前	2.0						
1年	学部モジュール科目	医学統計学	1後	2.0	1年	学部モジュール科目	医学統計学	1後	2.0	
1年	正常構造と機能	人体構造系 I	1後	2.0	1年	正常構造と機能	人体構造系 I	1前・後	2.0	
2年	正常構造と機能	人体構造系 II	2前	3.5	2年	正常構造と機能	人体構造系 II	2前	3.5	
1年	正常構造と機能	生体分子系	1前	3.0	1年	正常構造と機能	生体分子系	1前・後	1.5	3単位に読替え
1年	正常構造と機能	分子遺伝系(※)	1後	2.0	2年	正常構造と機能	分子遺伝系	2後	2.0	
1年	正常構造と機能	神経・感覚器系I(※)	1後	1.5	2年	正常構造と機能	神経・感覚器系	2前	1.5	1科目履修で2科目に読替え
2年	正常構造と機能	神経・感覚器系II	2後	0.5						
1年	正常構造と機能	発生・組織系I	1後	0.5	1年	正常構造と機能	発生・組織系	1前・後	2.0	1科目履修で2科目に読替え
2年	正常構造と機能	発生・組織系II	2前	2.5						
2年	正常構造と機能	動物性機能系	2前	2.5	2年	正常構造と機能	動物性機能系	2前	1.5	2.5単位に読替え
1年	正常構造と機能	内臓機能・体液系I	1後	1.0	1年	正常構造と機能	内臓機能・体液系I	1後	3.5	
2年	正常構造と機能	内臓機能・体液系II(※)	2前	2.5	2年	正常構造と機能	内臓機能・体液系II	2前	0.5	
2年	疾患総論	感染系	2後	3.5	2年	疾患総論	感染系	2後	2.5	3.5単位に読替え
2年	疾患総論	免疫系	2後	2.0	2年	疾患総論	免疫系	2後	1.5	2単位に読替え
3年	疾患総論	環境因子系	3前	1.0	2年	疾患総論	環境因子系	2後	1.0	
2年	疾患総論	腫瘍系	2後	1.0	2年	疾患総論	腫瘍系	2後	0.5	1単位に読替え

平成24(2012)～平成27(2015)年度入学者

- ※ の開講年次が変更になった科目については、平成28(2016)年度以降カリの開講年次において履修し、進級要件は平成24(2012)～平成27(2015)年度カリの開講年次の要件に含める。
- ※ の開講年次が変更になった科目については、平成28(2016)年度以降カリの開講年次において履修し、進級要件は平成28(2016)年度カリの開講年次の要件に含める。なお、開講しない年度の再履修については成績評価のみを実施する。
- ※ 内臓機能・体液系II の未修得学生は平成28(2016)年度以降カリの内臓機能・体液系Iも再履修すること。

平成28(2016)年度編入学生

- ※ 朱書きの科目については、平成28(2016)年度に別途補講・試験等を行う。

平成24～27年度入学者の科目の読替え表 (平成28年度以降入学者カリキュラム3～6年次開講科目)

平成24(2012)～平成27(2015)年度入学者 カリキュラム				
開講年次	科目区分	科目	受講学期	単位数
3年	医と社会	医と社会Ⅲ	3前・後	2.5
4年	医と社会	医と社会Ⅳ	4前・後	0.5
4年	正常構造と機能	人体構造系Ⅲ	4前	1.0
2年	疾患総論	病理総論系	2後	1.5
2年	疾患総論	基礎医学TBL	2後	1.0
3年	疾患総論	薬理系(薬理学実習含む)Ⅰ	3前	2.5
3年	疾患総論	薬理系(薬理学実習含む)Ⅱ	3後	
4年	疾患総論	薬理系(薬理学実習含む)Ⅲ	4前	4.0
3年	疾患総論	病理各論系Ⅰ	3前	
3年	疾患総論	病理各論系Ⅱ	3後	
4年	疾患総論	病理各論系Ⅲ	4前	1.5
3年	疾患各論	血液・リンパ系	3後	
3年	疾患各論	循環器系	3前	2.5
3年	疾患各論	呼吸器系	3前	2.0
3年	疾患各論	内分泌・代謝・栄養系	3後	1.5
3年	疾患各論	消化器系	3前	2.5
3年	疾患各論	感染症系	3前	2.0
4年	疾患各論	運動系	4前	1.5
3年	疾患各論	腎泌尿器系	3後	1.5
3年	疾患各論	生殖系	3後	2.5
3年	基礎研究実習	リサーチセミナー	3後・4前	11.5
3年	疾患各論	小児系	3後	1.5
3年	疾患各論	免疫・アレルギー疾患系	3後	1.0
4年	疾患各論	脳・神経系	4前	2.5
4年	疾患各論	視覚系	4前	1.5
4年	疾患各論	耳鼻咽喉口腔系	4前	1.5
4年	疾患各論	皮膚系	4前	1.5
4年	疾患各論	精神系	4前	1.5
4年	医学・医療と社会	法医学系	4後	1.5
4年	医学・医療と社会	衛生学・分子疫学	4前	1.5
4年	医学・医療と社会	公衆衛生学	4前	1.5
3年	診療の基本	放射線医学	3後	1.0
4年	診療の基本	臨床検査医学	4後	1.0
4年	診療の基本	診断学	4後	3.0
4年	診療の基本	外科治療学	4前	2.0
4年	診療の基本	臨床疫学・医療情報学	4後	0.5
4年	診療の基本	臨床薬理学	4後	0.5
4年	診療の基本	東洋医学	4後	0.5
4年	診療の基本	総合病理学	4後	1.0
3年	診療の基本	臨床医学TBLⅠ	3前	2.0
3年	診療の基本	臨床医学TBLⅡ	3後	1.0
4年	診療の基本	臨床医学TBLⅢ	4前	1.0
4年	診療の基本	臨床推論PBL	4後	3.0
4・5年	臨床実習	臨床実習	4後、5前・後	55.0
5年	臨床実習	高次臨床実習Ⅰ	5後	7.5
6年	診療の基本	臨床総括講義	6前	3.0
6年	臨床実習	高次臨床実習Ⅱ	6前	20.0

平成28(2016)年度以降入学者 カリキュラム					
開講年次	科目区分	科目	受講学期	単位数	
3年	医と社会	医と社会Ⅲ	3前・後	2.0	2.5単位に読替え
4年	医と社会	医と社会Ⅳ	4前・後	1.0	0.5単位に読替え
4年	正常構造と機能	人体構造系Ⅲ	4前	0.5	1単位に読替え
3年	疾患総論	病理総論系	3前	1.0	1.5単位に読替え
3年	疾患総論	基礎医学TBL	3前	1.5	1単位に読替え
3年	疾患総論	薬理系(薬理学実習含む)	3前	1.0	すべて履修することで 2.5単位に読替え
3年	疾患各論	(各科目の薬理系部分を履修)	3前・後		
4年	疾患各論	(各科目の薬理系部分を履修)	4前		すべて履修することで 4単位に読替え
3年	疾患各論	(各科目の病理各論系部分を履修)	3前・後		
4年	疾患各論	(各科目の病理各論系部分を履修)	4前		
3年	疾患各論	血液・リンパ系	3前	1.5	
3年	疾患各論	循環器系	3前	4.5	2.5単位に読替え
3年	疾患各論	呼吸器系	3前	1.5	2単位に読替え
3年	疾患各論	内分泌・代謝・栄養系	3後	1.5	
3年	疾患各論	消化器系	3後	3.0	2.5単位に読替え
3年	疾患各論	感染症系	3前	1.5	2単位に読替え
3年	疾患各論	運動系	3後	2.5	1.5単位に読替え
3年	疾患各論	腎泌尿器系	3前	1.5	
3年	疾患各論	生殖系	3後	3.5	2.5単位に読替え
3年	基礎研究実習	リサーチセミナー	3後・4前	11.5	
4年	疾患各論	小児系	4前	1.0	1.5単位に読替え
4年	疾患各論	免疫・アレルギー疾患系	4前	1.5	1単位に読替え
4年	疾患各論	脳・神経系	4前	4.0	2.5単位に読替え
4年	疾患各論	視覚系	4前	1.0	1.5単位に読替え
4年	疾患各論	耳鼻咽喉口腔系	4前	1.0	1.5単位に読替え
4年	疾患各論	皮膚系	4前	1.0	1.5単位に読替え
4年	疾患各論	精神系	4前	1.0	1.5単位に読替え
4年	医学・医療と社会	法医学系	4後	1.0	1.5単位に読替え
4年	医学・医療と社会	衛生学・分子疫学	4前	1.5	
4年	医学・医療と社会	公衆衛生学	4前	1.5	2科目履修することで
4年	医学・医療と社会	地域医療学	4前	0.5	1科目に読替え
3年	診療の基本	放射線医学	3前	0.5	すべて履修することで 1科目に読替え
3年	疾患各論	(各科目の放射線医学部分を履修)	3前・後		
4年	疾患各論	(各科目の放射線医学部分を履修)	4前		
3年	診療の基本	臨床検査医学	3後	0.5	1単位に読替え
4年	診療の基本	診断学	4後	2.5	3単位に読替え
4年	診療の基本	外科治療学	4後	1.5	2単位に読替え
4年	診療の基本	臨床疫学・医療情報学	4前	0.5	
4年	診療の基本	臨床薬理学	4前	0.5	
4年	診療の基本	東洋医学	4前	0.5	
4年	診療の基本	総合病理学	4前	0.5	1単位に読替え
4年	診療の基本	臨床推論PBL	4後	2.0	1科目履修で4科目に 読替え
4・5年	臨床実習	臨床実習	4後、5前・後	64.0	55単位に読替え
5年	臨床実習	高次臨床実習Ⅰ	5後	12.5	7.5単位に読替え
6年	診療の基本	卒業試験	6前・後		3単位に読替え
6年	臨床実習	高次臨床実習Ⅱ	6前	25.0	20単位に読替え

平成24(2012)～平成27(2015)年度入学者

※ の開講年次が変更になった科目については、平成28(2016)年度以降カリの開講年次において履修し、進級要件は平成24(2012)～平成27(2015)年度カリの開講年次の要件に含める。

※ の開講年次が変更になった科目については、平成28(2016)年度以降カリの開講年次において履修し、進級要件は平成28(2016)年度カリの開講年次の要件に含める。なお、開講しない年度の再履修については成績評価のみを実施する。

長崎大学ナンバリング・システムについて

長崎大学ナンバリング・システムとは、長崎大学で開講されているすべての授業科目（教養教育科目・学部専門科目・大学院専門科目等。旧カリキュラム科目は除く）に対し、授業内容・レベル等に応じて特定の記号や数字やナンバーを付与し、教育課程表やシラバスに記載することにより、体系的な教育プログラムの実現を目指す方法のことであります。

1 長崎大学ナンバリング・システムの統一フォーマット

長崎大学の全授業科目には、以下のような統一した形式でナンバーが付されています：

AB	CD	1	234	5
学部等 コード	領域/プログ ラムコード	水準 コード	識別 コード	使用言語 コード

通常表示部分

表示例

専門教育科目 医と社会 GEFY 11111

【学部等コード】科目を提供する学部や研究科等を表す2文字の英文字です。医学科は「ME」で統一されています。

【領域/プログラムコード】科目を提供する学部等のカリキュラム体系上の大きな区分を表す2文字の英文字です。医学科は「ME」で統一されています。

【水準コード】科目の授業のレベルを示す1桁の数字です。数字と学年は必ずしも一致するものではありません。識別コードの詳細については表2を参照ください。

【識別コード】「領域/プログラムコード」で大きく区分された科目群を更に識別するための3桁の数字です。学部・研究科ごとに独自の規則で識別コードが付与されています。

【使用言語コード】その科目の授業中に使用される言語を表す1桁の数字です。表3を参照ください。

2 長崎大学ナンバリング・システムの特徴

識別コード

識別コードによって、授業科目の履修体系上でのおよその位置づけが一目で識別できます。

3 ナンバリング・システムの活用方法

記号や数字の意味することを理解した上で、便覧等に示された学部や研究科ごとの科目ナンバー付与規則を理解してください。慣れてくると、科目ナンバーを見るだけで、カリキュラム体系上どのような位置づけの科目であるか分かるようになります。

識別コードは、体系的に設計してありますので、科目選択や履修順序を判断する際に利用してください。

シラバスに履修の前提とする科目が科目ナンバーで記載されている場合があります。そのときは、NU-Webの検索機能でどのような科目であるか調べてください（平成27年10月以降使用可）。

専門的な学習を行うようになったら、科目ナンバーの学問分類からその科目の学問上の位置づけを把握することで、履修科目の体系に関する理解が更に深まります。

表 2

0 : 卒業要件外科目 (大学入学前に修得する内容の科目, リメディアル科目, 卒業要件外授業科目)	
1 : 学部専門科目 (入門的内容の科目), 教養教育科目 (語学上級科目, 高年次対象科目を除く)	学部科目
2 : 学部専門科目 (基礎的内容の科目), 教養教育科目 (語学上級, 高年次対象科目)	
3 : 学部専門科目 (発展的内容の科目), 教養教育科目 (高年次対象科目)	
4 : 学部専門科目 (卒業論文・卒業研究関連科目, 医・歯・薬 5~6 年科目)	

表 3

1 : 日本語で行う授業	6 : ドイツ語で行う授業
2 : 英語で行う授業	7 : フランス語で行う授業
3 : 日本語と英語のバイリンガル授業	8 : オランダ語で行う授業
4 : 中国語で行う授業	9 : 日本語と英語以外の外国語のバイリンガル授業
5 : 韓国語で行う授業	0 : (予備)

授業科目区分	科目名	ナンバリング	授業科目区分	科目名	ナンバリング	
医と社会	医と社会 I	MEME21011	診療の基本	診断学	MEME37011	
	医と社会 II	MEME21021		放射線医学	MEME37021	
	医と社会 III	MEME31031		臨床検査医学	MEME37031	
	医と社会 IV	MEME31041		外科治療学	MEME37041	
入門科目	人間生物学	MEME12011		臨床疫学・医療情報学	MEME37051	
	人体構造系 I	MEME23011		臨床薬理学	MEME37061	
正常構造と機能	人体構造系 II	MEME23021		臨床総括講義	MEME47071	
	生体分子系	MEME23031		臨床医学TBL I	MEME37081	
	分子遺伝系	MEME23041		臨床医学TBL II	MEME37091	
	動物性機能系	MEME23071	臨床推論PBL	MEME37131		
	人体構造系 III	MEME33101	臨床実習	臨床実習	MEME48011	
	神経・感覚器系 I	MEME23111		高次臨床実習 I	MEME48311	
	発生・組織系 I	MEME23121		高次臨床実習 II	MEME48321	
	疾患総論	内臓機能・体液系 I	MEME23131	基礎研究実習	リサーチセミナー	MEME39011
		神経・感覚器系 II	MEME23141		プレリサーチセミナー I	MEME29041
		発生・組織系 II	MEME23151		プレリサーチセミナー II	MEME29051
内臓機能・体液系 II		MEME23161	プレリサーチセミナー III		MEME39061	
感染系		MEME24011	アドバンストリサーチセミナー I		MEME39071	
免疫系		MEME24021	アドバンストリサーチセミナー II		MEME39081	
環境因子系		MEME34031	アドバンストリサーチセミナー III		MEME49091	
薬理系		MEME34041	アドバンストリサーチセミナー IV		MEME49101	
病理総論系		MEME24051	アドバンストリサーチセミナー V		MEME49111	
疾患各論		病理各論系	MEME34081	医学総合セミナー	医学ゼミ I	MEME20011
	腫瘍系	MEME24101	医学ゼミ II		MEME20021	
	基礎医学TBL	MEME24111	医学ゼミ III		MEME30031	
	血液・リンパ系	MEME35011	地域医療ゼミ		MEME20091	
	循環器系	MEME35021	熱帯医学ゼミ	MEME20251		
	呼吸器系	MEME35031	医学英語	国際医療英語 I	MEME20172	
	内分泌・代謝・栄養系	MEME35041		国際医療英語 II	MEME20182	
	免疫・アレルギー疾患系	MEME35051		医学英語 I	MEME21512	
	脳・神経系	MEME35061		医学英語 II	MEME21522	
	皮膚系	MEME35071		医学英語 III	MEME21532	
運動系	MEME35081	医学英語 IV		MEME21542		
医学・医療と社会	消化器系	MEME35091	学部モジュール	人間生物学	MEME16011	
	腎泌尿器系	MEME35101		細胞生物学	MEME16021	
	生殖系	MEME35111		医学統計学	MEME16031	
	視覚系	MEME35121		原爆医学概論	MEME16041	
	耳鼻咽喉口腔系	MEME35131		医学は長崎から	MEME16051	
	精神系	MEME35141		医学史・原爆医学と長崎	MEME16061	
	小児系	MEME35151		Communication Skill in English	MEME16073	
	感染症系	MEME35161				
	法医学系	MEME36011				
	社会医学系	MEME36021				
衛生学・分子疫学	MEME36031					
公衆衛生学	MEME36041					
公衆衛生学	MEME36051					

医学部医学科のディプロマポリシーにおける領域ごとの達成レベル

レベル(達成度)	卒業教育	Advanced	Applied	Basic			
I. 倫理観とプロフェッショナリズム	S	A	B	C	D	E	F
長崎大学医学部学生は卒業時に							
自らの健康管理にも努め、生涯にわたる学習意欲を有し、生命倫理・医療倫理を重んじ、豊かな人間性と社会的使命感に基づいた行動ができる。	診療の現場で医師としての態度・価値観・行動を実践できる	診療の現場で医師としての態度・価値観・行動をせしめず	医師としての態度・価値観をシミュレーションできる	技能・態度を示すことができる	知識を獲得している	経験する機会はあるが、単位認定には関係ない	経験する機会がない
II. 医学・医療に関する知識(ver.2.1)	S	A	B	C	D	E	F
長崎大学医学部学生は卒業時に							
医学・医療の基本的知識を有し、総合的理解に基づいて課題を探求し、適切に問題解決できる。	実践の場で課題を探求し、適切に問題解決できる	実践の場で課題を探求し、解決への応用ができる	課題解決のための知識を示すことができる	課題解決の道筋を設定できる	基盤となる知識を説明できる	経験する機会はある	修得する機会がない
III. 医療の実践(ver.3.1)	S	A	B	C	D	E	F
長崎大学医学部学生は卒業時に							
医師としての業務を遂行する専門職として必要な基本的診療能力(統合された知識、技能、態度・行動に基づく総合的能力)を有し、適切な診療計画を立てることができる。	診療の場で実践することができる	診療の一部として実践することができる	模擬診療を実施できる	基盤となるスキル・態度を示すことができる	基盤となる知識を説明できる	経験する機会はある	経験する機会がない
IV. コミュニケーション技能(ver.2.0)	S	A	B	C	D	E	F
長崎大学医学部生は卒業時に							
人間理解に立った高い協調性のもとに医療の場において関わる全ての人のと良好な人間関係を構築できる。	診療の場で実践することができる	診療の一部として実践することができる	模擬診療を実施できる	基盤となるスキル・態度を示すことができる	基盤となる知識を説明できる	経験する機会はある	経験する機会がない
V. 地域医療・社会医学(ver.3.0)	S	A	B	C	D	E	F
長崎大学医学部生は卒業時に							
医療行政・福祉・保健・医療経済への配慮の下、チームの一員として多職種と協働し、地域社会や国際社会へ貢献するための能力を身につけている。	地域医療のチームの一員として診療を実践できる	地域医療のチーム一員として診療の一部を実践できる	地域における課題の発見と計画立案ができる	基盤となるスキル・態度を示すことができる	基盤となる知識を説明できる	経験する機会はある	経験する機会がない
VI. 科学的探究	S	A	B	C	D	E	F
長崎大学医学部生は卒業時に							
医学研究の必要性を理解し、研究に参加すると共に、科学性及び医学的創造性に基づいた論理的思考や独創的発想ができる。	計画に沿って、自主的に研究に参加し、常に科学性および医学的創造性に基づいた論理的思考ができる	計画に沿って、一部自主的に参加できる	研究計画の立案、研究の見学、参加する	基盤となるスキル・態度を示すことができる	基盤となる知識を説明できる	経験する機会はある	経験する機会がない